

District 2770



イマジン

ロータリー

会長：小林 賢弘
幹事：北林 隆一

Weekly Report

2022~2023 越谷東RC運営方針

●感謝と恩返しの輪を広げよう

2022~2023 RIテーマ

●イマジン ロータリー

越谷東
ロータリークラブ
創立1987年5月18日



〈例会日〉 毎週木曜日 12:30~13:30
〈事務局〉 〒343-0813 越谷市越ヶ谷3-7-1 (NTT東日本 越谷ビル2F)
☎ 048-965-2037 ☎ 048-965-2011
<http://www.koshigayahigashi-rc.org/> E-mail:info@koshigayahigashi-rc.org

会報No.1515号/担当：委員一同

第1727回例会

2023年4月6日

第1728回例会

2023年4月9日(日)・10日(月)

第1729回例会

2023年4月20日

親睦旅行
(福島県小名浜方面)

越谷南RC・越谷東RC
合同例会

環境月間



会長挨拶

会長 小林 賢弘

今日も引き続きシリーズ6回目、バンドマン篇の3回目をお送りします。

さて壊滅状態の大学受験最後の最後に何とか引かなかった亜細亜大学に入学して、私はついにバンド結成の第一歩を踏み出しました。オリエンテーション合宿で出会った、バンドとは無縁ですが人間そのものがロックな我満先輩に魅かれ、彼が会長を務める経営学研究会というサークルに入会しました。我満さんは、彼が卒業するまでバンドのマネージャーをやってくれることとなります。このサークルは経営学の研究活動は全くせず、部室に顔を出し面子が揃うと雀荘に直行

するという毎日でした。

ある日、隣の卓で打っていた生意気そうな1年生に我満さんが話を着けて、まだどのサークルにも入っていなかった2人が麻雀に勝てば飲み代を奢り、負けたら私たちのサークルに入会するという賭けが成立しました。1年生2人VS私と我満さんの経営学研究会という新入会員争奪麻雀が始まります。「絶対勝つぞ!」と発破をかけられた私は「任せてください」と自信満々に答えました。大学受験を棒に振ってまで場数を踏んできた私から見たら彼らの打ち筋はまだ甘く、格の違いを見せて最後は私が役満を自摸ってとどめを刺しました。その夜彼ら2人の入会祝いの飲み会で、生意気そうな方の矢沢くんと妙に気が合い、解散した後、村田荘という彼のアパートの部屋に乱入して朝まで語り明かしました。彼と私は共通点が多く、高校時代RCサクセッションに憧れてバンドでギターを弾いていたこと、ロックが好きで聴いてきた音楽が似ていること、バイクを愛しホンダのCBXに乗っていたこと、パトカーと追っかけっこをして免許取消になったことなど話は尽きませんでした。明るくなってきた頃「またバンドやりてーな」とぼつりと言った矢沢に「やろーぜ」と私が答え、新しいバンドが結成されました。



この日から私と矢沢はメンバー集めに奔走します。第二外国語に中国語を専攻していた私は同じクラスの国立(くにたて)・スティーブン・とおるというオーストラリアのハーフと知り合います。オーストラリア生まれで岐阜育ちのとおるは天才的なりズム感を持つ

- ◆黙 禱
- ◆開会点鐘 会長 小林 賢弘
- ◆国歌斉唱 「君が代」
- ◆ロータリーソング斉唱 「我らの生業」
- ◆クラブソング斉唱 「クラブ賛歌」(1番)
- ◆四つのテスト 職業奉仕委員会 平野 武志
- ◆結婚記念日・誕生日祝 親睦友愛委員会
- ◆会長挨拶 会長 小林 賢弘
- ◆幹事報告 幹事 北林 隆一
- ◆委員会報告 親睦友愛委員会 宮本 正行
- ◆職場紹介卓話
株式会社ヤマショウサービス 代表取締役 山崎 勝己
- ◆スマイル報告 社会奉仕委員会 隅田 敏
- ◆出席報告 出席委員会 栗屋 裕二
- ◆閉会点鐘 会長 小林 賢弘

ドラマーでした。ルックスは抜群なのに女の子の前では赤面してどもってしまう奴で、「東京の女の子を紹介してやるから」と私が言ったら、二つ返事で「やる」と加入した変な二枚目です。高校時代と同様ボーカル探しに苦労していると、当時のギターの有馬がバイト先の友人松本コーちゃんを「こいつの歌は本物だ」と紹介してくれました。コーちゃんは無口な変人で、ストーンズ、キンクス、ザ・フー、ドアーズをこよなく愛するロッカーでした。何とかメンバーが揃い初のスタジオインでは全員がわかるキンクスの「ユーリアリーガットミー」を合わせました。武蔵境南口のレインボーというスタジオで私は眩暈がして倒れそうになりました。矢沢のギターは私の想像を遥かに超えるレベルでアマチュアとは思えないとんでもない技術でした。とおるのドラムはリズム感が素晴らしく天才を感じさせました。コーちゃんはそのスリムな体からどうやったら出せるのだというパワーでシャウトしてくれました。恐るべき天才3人に囲まれてベースの私一人が凡人のようでした。みんなは「後ノリでいい味出してる」とか「高2で始めたにしては上手い」とか言ってくれましたが慰めにしか聞こえず、私は深く自己嫌悪に陥りました。それでもみんなは手ごたえを感じたようで「いいバンドになるな」とか「すぐに曲決めようぜ」ととても前向きになったのが救いでした。

劣等感にどっぷり浸かったスタートでしたが、バンド名を「THE NEMESIS」（ザ・ネメシス）と名付け、ついにバンド活動が始まったのです。王道のUKロックのコピーから私の詩に矢沢がメロディーをつけたオリジナルをやるようになると、1時間半かかる通学時間が無駄に思えて、矢沢が住む村田荘の1号室が空いたのを機に私はここに引っ越し、初めての一人暮らしを始めます。村田荘は風呂無しのぼろアパートですが25,000円と家賃が安く、大家は近くにいない上、学生しか住んでいないのでバカでかい音を出しても、女の子を連れ込んでも苦情がこないバンドマンには理想的な住みかでした。

作曲知識のない私はメロディーが浮かんでくるとコードをメモリ、矢沢の3号室に乱入して二人で曲にするという生活が続きます。矢沢は楽譜が書けるので、曲ができると譜面にして私の部屋にやって来ます。ネメシスの数々のオリジナル曲はこうして村田荘で生まれました。

一方ライブは大学の学園祭を皮切りに、吉祥寺・国分寺・立川・福生などの三多摩地区で週1回ペースで定期ライブをこなすようになり、友だちや知り合いだけだった観客が、少しずつファンと呼べるような知らない人達へと確実に変わってきていることを実感できるようになりました。メジャーデビューを目標にしてデモテープをレコード会社に送るようになり、渋谷の屋根裏、新宿のロフトなどのメジャーライブハウスに進出しようとしていた時、人生観の違いからドラマーのおとるが脱退してしまいます。私、矢沢、コーちゃんのプロ志向に対して、とおるはあくまで就職までのアマチュア志向でした。ドラマーの脱退によって活動不能となり、予定していたライブを全てキャンセルせざるを得なくなってしまいます。ちょうど目標の一つ

であった吉祥寺曼荼羅のオーディションに通じ、レギュラー出演が決まった時だったので、急遽矢沢の新潟の高校時代の友人で駒沢大学生の小川ひろふみをドラマーとして迎えます。吉祥寺曼荼羅は日本で2番目に、東京では一番古いライブハウスで、私と矢沢が憧れたRCサクセションがメジャーになる直前、アコギとウッドベースのトリオからバンドに変わった時期にレギュラーで出演していてどんどん有名になっていったという、出演を最初の目標にしていた箱でした。

何とか曼荼羅のライブに間に合い2回こなした時に、今度はボーカルの松本コーちゃんが行方不明となってしまいます。流石にコーちゃんの代わりを立てるのは不可能で、ネメシスはここで完全に活動を休止することになりました。後に知った話では、コーちゃんのお私生活を誰も知らず元々謎だらけの男でしたが、どうやら過激派のセクトに加入していたらしく、何らかの問題を起こし組織の粛清を恐れ行方をくらましたようでした。大学も退学したようで、その後彼に再び会うことはありませんでした。諦めきれない私は有馬をギターに入れ、矢沢がボーカルを兼ねる体制にしますが、小さなライブハウスで数回やっただけで元々矢沢とそりが合わなかった有馬が脱退。曼荼羅で知り合ったバンドの風間くんがギターを掛け持ちでやってもらっていましたが、しばらくするとドラマーの小川ひろふみが事故死してしまいます。車を運転していたの単独事故でした。バイクはたまにつるんで峠を攻めに行っていました。バイクは上手かったが車は下手だったようで、雨の大垂水峠で二十歳の命を散らしてしまいました。ネメシスはこうして遂に結成した時の私と矢沢二人だけに戻りました。度重なる脱退劇とそれに伴う活動不能に嫌気がさした二人は、ネメシスとしてのプロジェクトをしばらくの間凍結することに決めます。ちょうど新しい楽器が欲しかった私は喫茶店のバイトを倍に増やし、バイト先の仲間とつるみ出します。矢沢は新潟時代の友だちの世田谷の部屋を泊まり歩き、村田荘に帰らなくなりました。

私のバイト先、くすの樹という喫茶店のバイト仲間に室井くんというベーシストがいました。彼は亜細亜大学のジャズ研に所属していてとても高度な技術を持ち、仲良くなると私のベースの師匠となります。福島出身の室井くんは高校時代の軽音楽部の先輩で彼のベースの師匠でもある人は、何とか私がずっと憧れていたRCサクセションのバックのホーンバンドであるブルーレイホーンズとドクトル梅津バンドのベーシスト早川岳晴さんだったのです。世間は狭いもので私は憧れの清志郎と一緒にやっている早川さんの孫弟子になるのかと思うと興奮してしまいました。早川さんとは会ったことも教わったこともないですけど・・・

一方矢沢は世田谷の友だち達と新しいバンドを結成します。このバンドがのちに幻のパンクバンドとしてマニアに絶賛される「SOAP OPERA」（ソープオペラ）の前身でした。当初のメンバーは、ボーカル：渡邊さゆり、ギター：矢沢、ベース：梶原敦、ドラム：佐藤なんとかの4人でしたが、紅一点バンドのタブーとされるメンバー間の恋愛行為が発覚。さゆりと敦ができている、本当はボーカルをやりたいかった敦とさゆりの

仲が険悪となり、いがみ合った末、敦が突然脱退をしてしまいます。敦と仲の良かったドラムの佐藤もつられて脱退。スタートしていきなりの、ライブはおろか数回スタジオインしただけでの活動不能状態に矢沢は怒り強い強度のアルコール依存症になってしまいます。3ヶ月ほど経って矢沢が泣く泣くソープオペラについて私に相談してきました。ずっと横目で見ていた私はベースとドラムを探すと約束し、翌月ドラマーの阿部和寿を連れて行き、「おれがベースで参加する」と宣言しました。矢沢は過激なパンクのソープオペラを、純粋にロックを突き詰めるネメシス=私とは無関係にしておきたかったようで、複雑な顔をしていましたが背に腹は代えられなかったようで私の申し出を承諾しました。

かくしてのちに中央沿線のライブハウスで一部の層の間で伝説となった幻のパンクロックバンド ソープオペラがスタートしたのです。切りのいいところでソープオペラの大活躍は次回にお話しします。

幹事報告

幹事 北林 隆一

幹事報告させていただきます。

次回の例会は、親睦旅行(4/9～4/10)となります。また、4/13(木)は振替により休会となりますのでよろしくお祈りします。

以上幹事報告でした。



スマイル報告

社会奉仕委員会 隅田 敏

今回

25,500円

累計

708,500円

職場紹介卓話

株式会社ヤマショウサービス 代表取締役 山崎 勝己



私の職業は、運送事業と特別管理産業廃棄物事業です。大伸化学株式会社という溶剤メーカーさんの製品をディーラー・ユーザーさんへ納品業務をさせていただいています。

当初は、トラック1台一人で仕事をしていました。バブルも終盤でしたが、毎日忙しく朝早くから夜遅くまで仕事に従事していました。そんな中で、けがをしたり病気をしたりで長期にわたり休業を余儀なくする羽目になったとき、一人親方では、何の保証もありませんしその日からお金が入ってこなくなるわけですからこの先家族を養っていくのに不安を覚えました。会社を設立して法律を遵守し許可を取得、従業員を雇い入れちゃんとした運送事業を営もうと夢は広がりました。

時が過ぎしばらくすると、当時の営業本部長がお客さんから、うちに納品に来ている運転手はいいねとお褒めの言葉を頂いたらしく、それがきっかけで荷主さんに専属運送業者として新規参入させていただくことができました。当時は信頼を獲得するために事故防止・製品破損防止・従業員教育にとりうるさく指導した記憶があります。その後営業本部長も社長になり、少しずつ信頼を頂き、仕事の方も増やしていただくことができ現在に至ります。

弊社は、第一に輸送の品質を大事に考えています、事故防止・製品破損防止はもちろんの事、最近では、ビジネスマナー・接客マナーなども取り入れて安全研修を毎月1回実施しています。その甲斐あって、事故・破損も減り荷主さんからの信頼も上がりました。

今後は、事業の拡大をお願いしているところではありますが、2024年に運送業界は大きな課題を抱えています。まずはこれを荷主さんと話し合いながら良い結果となるよう努力しなくてはなりません。そして、会社も従業員家族も豊かになることを望んでいます。その後で、早めに社長交代をしたいと思っています。

ご清聴いただきありがとうございます。



おめでとう

誕生日

4月

結婚
記念日



五十嵐久幸会員 杉下 智会員 橋本政行会員



小林賢弘会員 南 千加江会員 粟屋裕二会員 畔上順平会員

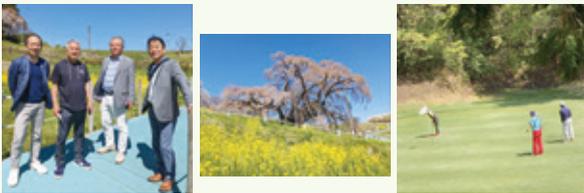
〈Zoom参加または欠席会員〉鈴木朝夫会員

〈Zoom参加または欠席会員〉大内一幸会員・原 美光会員

第1728回例会

2023年4月9日(日)・10日(月)

親睦旅行
(福島県小名浜方面)



第1729回例会

2023年4月20日

越谷南RC・越谷東RC
合同例会



【奥の細道 芭蕉】(大垣)

蛤のふたみにわかれ行く秋ぞ
深まり行く秋、ハマグリの殻と身と
を二つに引き裂く
ように、また再び
悲し分かれの時が
来た。



【奥の細道 芭蕉】(取残し)

草の戸も 住替る代ぞ ひなの家
随分長いこと住んだ質素な我が家も
違う人々が住むこ
とになった。新し
い人は娘さんのた
めにひな人形を飾
ったりするのかな
あ。



【奥の細道 芭蕉】

剃り捨てて 黒髪山に 衣更
黒髪を剃り捨て、墨染めの僧衣に
衣更えをした。今日はおりしも四
月一日、こうして衣
更えの日をこの黒髪
山(日光男体山)の
麓で迎えることにな
ったとはなあ。



(出席委員会)